

滝川市部活動地域移行アンケート調査概要

- 1 調査目的 滝川市の部活動に係る現状と課題について、児童生徒・保護者・教職員の意向等を把握し、今後の施策の基礎資料とする。
 - (1) 部活動加入数（小学生今後入りたい含む）の把握→需要数の把握
 - (2) 部活動に期待することの把握→勝ち負けや成績にこだわらず楽しみたいか、こだわって取り組みたいか
 - (3) 推計指導者数の把握→供給のために必要な要素の把握
 - (4) 地域移行に対する考え方の把握→メリット・デメリットの把握
- 2 調査対象
 - (1) 市内小学校5・6年生（550名程度）
 - (2) 市内中学校1・2年生（580名程度）
 - (3) 市内小学校5・6年生の保護者（550名程度）
 - (4) 市内中学校1・2年生の保護者（580名程度）
 - (5) 市内中学校の教職員（70名程度）
- 3 調査方法 Google フォーム（QRコードの読み取り）での回答
- 4 調査期間 令和5年9月1日（金）～9月15日（金）
- 5 調査設問項目

(1) 市内小学校5・6年生	(2) 市内中学校1・2年生
①属性（所属・学年・性別）	①属性（所属・学年・性別）
②（中学入学後の）部活動の入部希望・種目	②部活動の加入状況・種目
③部活動以外のクラブ活動等の参加状況	③部活動以外のクラブ活動の参加状況
④部活動への期待	④部活動への期待
	⑤地域移行への考え方 （メリット・デメリット・負担等）
(3) 市内小学校5・6年生の保護者	(4) 市内中学校1・2年生の保護者
①属性（所属・学年）	①属性（所属・学年）
②部活動への期待	②部活動への期待
③地域移行への考え方 （メリット・デメリット・負担等）	③地域移行への考え方 （メリット・デメリット・負担等）
④地域移行後の指導の可否	④地域移行後の指導の可否
(5) 市内中学校の教職員（部活動指導に関わる可能性のある教職員のみ）	
①属性（所属・年代）	
②部活動の担当状況（有・無、担当種目、希望したものか）	
③地域移行への考え方 （メリット・デメリット、懸念事項、負担等）	
④地域移行後の指導の可否	

滝川市部活動地域移行アンケート調査結果概要

1 回答率

小学校5・6年生	80%
中学校1・2年生	87%
小学校5・6年生保護者	30%
中学校1・2年生保護者	34%
中学校教職員	73%

2 調査目的4点に対する結果

(1) 部活動加入数（小学生今後入りたい含む）等の把握

設問項目	小学校5・6年生	中学校1・2年生
小：中学校入学後入りたい部活動がある 中：部活動に加入している	71.1%	79.0%
入りたい（小） または加入している（中） 部活動の種目	バドミントン 24.3% 美術部 20.3% バスケットボール 19.3% など	バドミントン 12.0% バスケットボール 11.0% 吹奏楽部 10.0% など
部活動以外のクラブ等の加入割合	51.0%	23.4%
加入しているクラブ等の種目（多いもの）	ピアノ・サッカー・ 書道（習字）など	ピアノ・サッカー・ダ ンスなど

➡ 約7～8割の需要が見込める

(2) 部活動に期待することの把握

設問項目	小学校 5・6年生	中学校 1・2年生	小学校5・6年生 の保護者	中学校1・2年生 の保護者
【児童・生徒】楽しみたい 【保護者】楽しませたい	57.7%	48.7%	33.1%	30.1%
【児童・生徒】こだわって取 り組みたい 【保護者】こだわって取り 組ませたい	38.4%	43.9%	10.0%	14.3%
【保護者】社会性等を身に つけさせたい			55.0%	49.5%

➡ 小学生：楽しみたい＞こだわって取り組みたい

中学生：楽しみたい＞こだわって取り組みたい ※ほぼ半数

保護者：楽しませたい＞こだわって取り組ませたい ※社会性等を身につけさせたいが最も多い

全体：楽しみたい（楽しませたい）＞こだわって取り組みたい（取り組ませたい）

勝ち負けや成績にこだわりたい割合も高く、勝ち負けや成績にこだわりたいながらも楽しみたいという意見や、友達づくりや技術の向上、体力の向上といった意見もあった。

(3) 推計指導者数の把握

設問項目	小学校5・6年生 の保護者	中学校1・2年生 の保護者	中学校教職員
【保護者】指導者として携 われる 【教職員】指導が可能	4.0% (7名)	9.7% (19名)	34.8% (16名)
指導できる種目 (多いもの)	野球・バドミントン・吹 奏楽など	バスケットボール・野 球・卓球・美術 など	野球・ソフトテニ ス・卓球など

➡ 指導者として協力可能な数は、全体の割合としては低いですが、数名いることがわかった。
しばらくは教職員の協力が必要だが、今後教職員以外の指導者を確保していく中で、活用の
可能性はあるのではないかと。

(4) 地域移行に対する考え方の把握（メリット・デメリットの把握）

設問項目	中学校1・2年 生	小学校5・6年生 の保護者	中学校1・2年生 の保護者	中学校教職員
肯定的意見 (メリット) 「そう思う」が 多かったもの	他校の生徒など との人間関係の 範囲が広がる	他校の生徒などとの人間関係の範囲が 広がる		地域移行により負担が軽減 する
否定的意見 (デメリット) 「そう思う」が 多かったもの	活動場所が通学 している学校で はなくなる場 合、移動が大変 になる	活動場所が通学している学校では なくなる場合、送迎の時間がとれない		・活動場所が遠くなる場 合、移動に時間が負担 ・指導者が複数になると指 導方針が違い指導しに くい

➡ 生徒や保護者は人間関係の範囲が広がるという点でメリットを感じている人が多く、教職員は地域
移行により負担が軽減すると期待している人が多い。
デメリットとしては、全回答者共通で、移動の負担を挙げる人が多かった。